

かぼちゃ

担当者 技能研究員 藤井 健

試験課題名	品種系統選定試験
目的	本町に適した多収・高品質の品種を選定するため比較検討し普及に資する
期待される成果	優良品種の導入により、生産の安定と経済性の向上を図る
連携機関	上川農業改良普及センター土別支所 JA北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会南瓜部会

1 供試品種・資材

品種

※えびす(タキイ) 黄栗(雪印) No.161(タキイ)
虹ロマン(新生商事) MK-K26(みかど交配) 虹ロマンII(新生商事)
ダークホース(渡辺採取場) パカ旨(大学農園) 北里(雪印)
※基準品種

マルチ資材

生分解性マルチフィルム(サンブラック工業株式会社)

・サンブラックNL95 ・サンブラックSB95 ・サンブラックSN95

2 耕種概要

土質～埴壤土

前作～キャベツ

播種日～5月22日

定植日～6月7日

収穫日～9月11日

整枝方法～子蔓2本仕立て

栽植密度～畦幅3m×株間0.75m 444株/10a当たり

3 土壌診断結果と施肥量

(1) 土壌診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	CaO	熱水抽出N
5.9	0.041	36.2	35.7	34.8	224	9.1

(2) 土改資材と堆肥 (kg/10a)

炭カル～40kg 堆肥～1,000kg

(3) 施肥内容 (kg/10a)

基肥～S 0 8 2 (10 - 18 - 12) 6月6日 全層施肥

分肥～S 4 4 4 (14 - 4 - 14) 7月5日 側条施肥

(4) 肥料の要素量

(kg/10a)

		N	P	K
基肥	S 0 8 2 80kg	8.0	14.4	9.6
分肥	S 4 4 4 20kg	2.8	0.8	2.8
合計		10.8	15.2	12.4

4 調査項目

生育調査～播種日・発芽期・発芽率・定植日・定植時の苗質・初期生育

雌花開花期・着果節位・着果期・収穫日・成熟日数・草勢・うどんこ病

果実特性調査～果形・果皮色・肉厚・果肉色

収量調査～10a当たり収量・収量比・1株当たり平均個数・平均一果重・規格別割合

食味調査～粉質程度・甘味・食味

貯蔵調査～糖度(Brix)・腐敗率

5 生育調査

項目	品種	えびす	黄栗	No.161	虹ロマン	MK-K26	虹ロマンⅡ	ダークホース	バカ旨	北里
播種日		5月22日								
発芽期		5月29日	5月29日	5月29日	5月30日	5月29日	5月31日	5月29日	5月29日	5月29日
発芽率(%)		100	100	100	100	100	100	100	95	100
定植日		6月7日								
定植時の苗質	最大葉長(cm)	7.6	7.6	6.8	5.3	6.0	5.1	6.7	7.0	6.4
	葉数(枚)	1.3	1.2	1.3	1.2	1.8	1.0	1.1	1.3	1.1
初期生育 定植から30日後	蔓長(cm)	41.0	43.2	20.4	43.4	27.4	37.8	32.2	32.4	49.0
	蔓の葉数(枚)	2.4	2.6	1.8	2.8	2.2	3.2	2.6	2.4	3.4
9月7日	蔓長(cm)	620	614	682	822	818	859	608	626	783
	蔓の葉数(枚)	42.6	36.2	32.5	48.3	45.8	52.1	30.4	41.7	53.0
雌花開花期		7月17日	7月15日	7月16日	7月18日	7月17日	7月17日	7月15日	7月16日	7月15日
着果節位(節)		8.5	11.2	6.8	15.7	13.5	11.8	9.9	9.5	19.2
着果期		7月24日	7月20日	7月24日	7月25日	7月24日	7月24日	7月23日	7月25日	7月22日
収穫日		9月11日								
成熟日数		56	58	57	55	57	57	58	57	58
草勢(強5~1弱)		3	3	4	5	5	5	3	3	4
うどんこ病(無0~4甚)		1	1	1	1	1	1	1	1	1

6 果実特性・収量調査

項目	品種	えびす	黄栗	No.161	虹ロマン	MK-K26	虹ロマンⅡ	ダークホース	バカ旨	北里
果形		扁平	扁平	扁平	扁平	扁平	扁平	扁円	扁平	腰高
果皮色		濃緑	黒緑	濃緑	黒緑	濃緑	濃緑	黒緑	混	黒緑
肉厚	赤道部(cm)	2.5	1.7	2.3	2.3	2.0	1.8	2.6	1.9	2.4
	花痕部(cm)	3.7	2.6	2.1	2.3	1.8	3.2	1.9	4.1	3.2
果肉色(濃5~1淡)		3	3	2	4	4	4	3	4	4
10a当たり収量(kg)		2,131	2,398	2,930	2,415	2,362	2,700	1,812	2,486	2,540
収量比(%)		100	113	137	113	111	127	85	117	119
1株当たり平均個数		2.4	3.0	3.0	3.2	2.8	3.2	2.4	2.8	2.6
平均一果重(kg)		2.0	1.8	2.2	1.7	1.9	1.9	1.7	2.0	2.2
規格別割合(%)	良果	45	64	48	56	52	49	55	58	77
	不良果	55	36	52	44	48	51	45	42	23

7 食味・貯蔵調査

項目	品種	えびす	黄栗	No.161	虹ロマン	MK-K26	虹ロマンⅡ	ダークホース	バカ旨	北里
粉質程度(強5~1弱)		3.0	3.4	3.5	3.4	3.4	3.3	3.5	3.4	3.4
甘味(強5~1弱)		3.0	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.8	2.7	2.7
食味(良5~1不良)		3.0	3.0	3.0	2.8	2.8	2.8	2.9	2.9	2.9
糖度(Brix)収穫2週間後		12.0	11.6	13.2	13.0	14.4	13.6	14.0	14.2	12.6
12月15日	腐敗率(%)	6	6	26	28	33	20	80	28	7
	糖度(Brix)	15.6	12.1	16.9	17.2	17.4	17.6	17.0	16.7	12.7
1月11日	腐敗率(%)	60	80	66	78	46	73	93	64	42
	糖度(Brix)	15.8	11.6	16.0	16.2	16.1	13.6	17.6	16.6	15.2

8 防除歴

殺虫剤	7月4日	エルサン乳剤	1000倍
	8月1日	エルサン乳剤	1000倍
	8月9日	アディオン乳剤	2000倍
殺菌剤	8月1日	ポリバリン水和剤	1000倍
	8月9日	モレスタン水和剤	2000倍

9 試験結果概要

(1) 生育経過

- ① 播種は78穴セル成型トレーを使い5月22日に行った。発芽期は虹ロマンが5月30日、虹ロマンⅡが5月31日となり、そのほかの品種は5月29日に迎えた。発芽率はバカ旨が95%、他の品種は100%となった。
- ② 定植は6月7日に全品種一斉に行った。定植時の苗質の最大葉長では、えびすと黄栗が7.6cmと最も長く、葉数ではMK-K26の1.8枚が最も高い結果となった。
- ③ 定植から30日後の調査では、蔓長は全体的に30～50cmの間となったが、No.161とMK-K26は20cm台となった。葉数は全品種ほぼ2～3枚前後という結果になった。
- ④ 9月7日の蔓長調査では、虹ロマンⅡが859cmと最も長く、その次に虹ロマン>MK-K26>北里という順になった。そのほかの品種は600cm台となった。葉数では、北里の53.0枚が最も多い結果となった。
- ⑤ 雌花開花期では、7月15日～18日に順次開花をした。着果期は、黄栗の7月20日を最初に7月25日までに全品種着果した。収穫は9月11日に行った。成熟日数は虹ロマンが55日、えびすが56日、No.161・MK-K26・虹ロマンⅡ・バカ旨が57日、その他の品種は58日となった。

(2) 果実特性・収量調査結果

- ① 肉厚の赤道部はダークホースの2.6cm、花痕部ではえびすの3.7cmが最も肉厚であった。果肉色は虹ロマン・MK-K26・虹ロマンⅡ・バカ旨・北里が4(濃5～1淡)となった。
- ② 10a当たりの収量では、No.161の2,930kgが最も高く、ダークホース以外の品種はえびすの収量より優れた結果となった。
- ③ 1株当たりの平均個数は全品種2～3個着果となった。平均一果重はえびす・No.161・バカ旨・北里が2kg以上となった。規格別割合では北里の良果77%が最も優れていて、その次に黄栗の64%、そのほかの品種は50%前後の結果となった。

(3) 食味・貯蔵試験結果

- ① 食味試験ではえびすを基準として、粉質ではNo.161・ダークホースが最も多い結果となった。甘味と食味では全品種えびす以下という結果になった。
- ② 貯蔵試験では農協の7℃に管理されている倉庫に貯蔵し、12月15日調査時の腐敗率はダークホースが80%と最も腐敗しており、No.161・虹ロマン・MK-K26・虹ロマンⅡ・バカ旨が20%以上となり、北里が7%、えびすと黄栗が6%という結果となった。12月下旬からは活性化センターの15℃に管理した施設で貯蔵を行った。1月11日の調査ではMK-K26と北里以外は全て腐敗率が60%を超えており、中でもえびす・黄栗・虹ロマン・虹ロマンⅡは前回調査の12月より50%以上も上昇した結果となった。
- ③ 収穫から2週間後の糖度調査ではMK-K26の14.4が最も高く、バカ旨が14.2、ダークホースが14.0、その他の品種は14.0未満となった。12月15日の糖度は虹ロマンⅡの17.6が最も高く、それに続いてMK-K26>虹ロマン>ダークホースという順になった。1月11日の糖度はダークホースの17.6が最も高く、虹ロマンⅡが13.6、黄栗が11.6、その他の品種は約16.0前後となった。

(4) 考察

今年は初期生育に心配があったが、定植後天候が回復し生育は順調に進んでいった。収量はえびすに比べダークホースのみ収量が低く、貯蔵試験でもダークホースは腐敗率が高い結果となった。

腐敗率は貯蔵条件などによって大きく左右されるため、今後更に検討していきたい。